

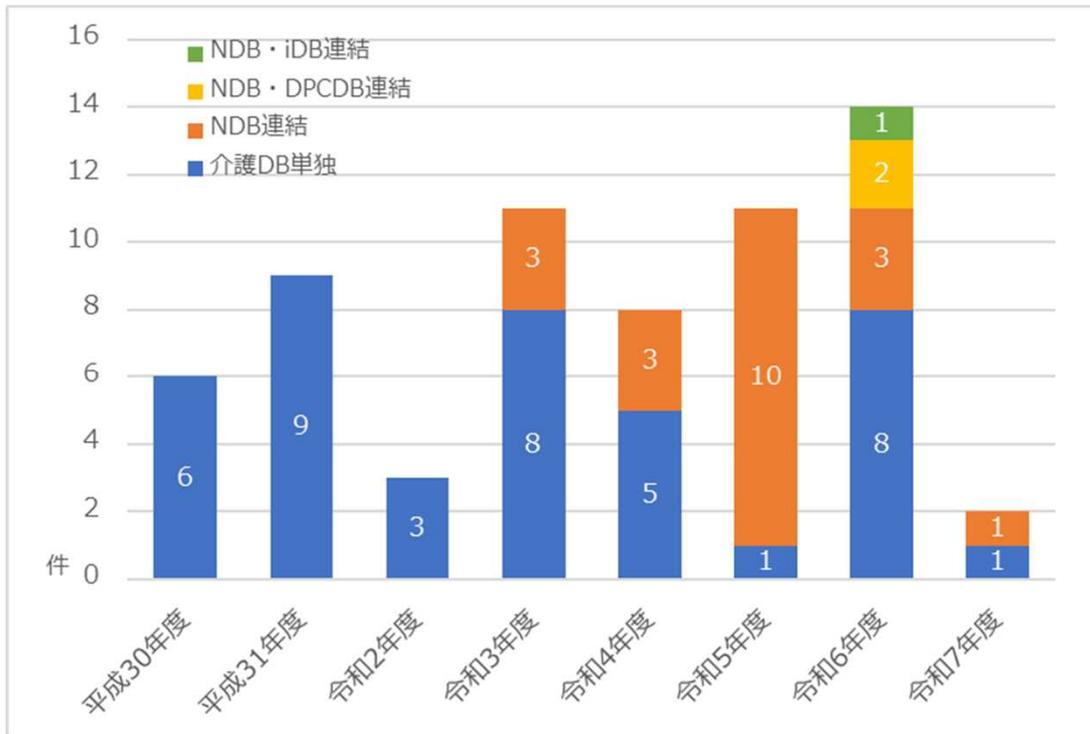
介護DBデータの第三者提供の実績について (報告)

厚生労働省老健局老人保健課

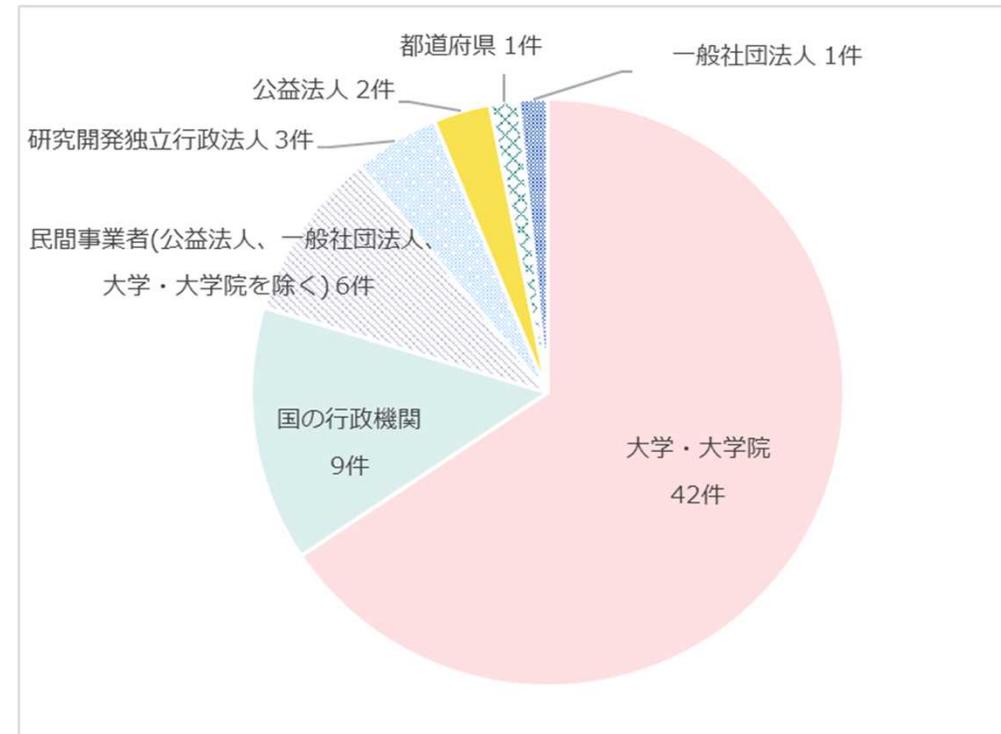
介護DBデータの第三者提供の承諾状況について（令和7年6月時点）

- 「要介護認定情報・介護レセプト等情報の提供に関する有識者会議」を設置し、第三者提供に係る告示・要介護認定情報・介護レセプト等情報の提供に関するガイドラインを発出。2018年11月より、要介護認定情報等の第三者提供を開始。
- 概ね3ヶ月に一度のペースで提供の可否を審査し、データの利活用を推進。
- 2020年10月より「匿名介護情報等の提供に関する専門委員会」にて、提供の可否を審査。

○第三者提供の承諾件数の推移



○提供申出者の区分(件数)



※1 令和7年度は7月末まで

参考：介護DBデータの申出の承諾実績について（1 / 4）

第119回 社会保障審議会 介護保険部会（令和7年4月21日）資料3より抜粋し、最新の情報（平成30年7月～令和7年6月）を反映。

- これまでに以下の計64件が承諾されており、52件の提供を行った。定型データセットでの提供を開始後は、定型データセットでの提供が増加しており、提供の形式としては最も多くなっている。

| 承諾番号 | 担当者・研究代表者の所属機関 | 研究の名称 | 提供依頼データ | 連結 | 申出者区分 | 提供 |
|------|--------------------------|--|--------------|----|--------|----|
| 1 | 産業医科大学 | 新規申請時に状態不安定を理由に要介護認定となった者に対するケアマネジメントが以降の要介護状態の変化に与える影響に関する研究 | 特別抽出 | － | 大学 | 済 |
| 2 | 産業医科大学 | 介護サービス提供体制の地域差に関する研究 | サンプリングデータセット | － | 大学 | 済 |
| 3 | 名古屋大学 | 高齢者の要介護度別介護サービス利用量および将来必要な介護サービス量推計に関する研究 | サンプリングデータセット | － | 大学 | 済 |
| 4 | 東北大学（旧：公益財団法人東京都医学総合研究所） | サンプリングデータセットを活用した介護資源利活用の状況分析 | サンプリングデータセット | － | 公益法人 | 済 |
| 5 | 東京慈恵会医科大学 | 介護老人保健施設入所者における入所時の要介護認定情報等と入所後の経過に関する研究 | 特別抽出 | － | 大学 | 済 |
| 6 | 京都大学 | 住民・自治体・保険者からみた包括ケア提供体制と保険システムにおける持続可能性の継続的検証に関する研究（介護の側面：介護の質・費用と健康寿命の相互関連・要因の解明） | 特別抽出 | － | 大学 | 済 |
| 7 | 広島大学 | 平成30年7月豪雨災害による短期的介護保険利用変化に関する後ろ向きコホート研究 | 特別抽出 | － | 大学 | 済 |
| 8 | 医療・病院管理研究協会 | 「地域における医療・介護ケアシステムの安定化を目指したその適正化に関する総合的研究」第Ⅲ部 埼玉県61保険者の自宅居住要介護（支援）認定高齢者の構造的把握に基づく地域医療と介護ケアシステムの包括的構築に関する研究 | 集計表情報 | － | 公益法人 | 済 |
| 9 | 兵庫県庁健康増進課 | 「レセプト情報・特定健診情報等を用いた医療費、疾病リスクの実態調査および健康づくり支援に資する評価方法の研究」 | 集計表情報 | － | 都道府県 | 辞退 |
| 10 | 財務省主計局 | 予算執行調査（介護報酬） | 集計表情報 | － | 国の行政機関 | 済 |
| 11 | 筑波大学 | 介護保険事業（支援）計画に役立つ地域指標－介護保険総合データベースの活用－ | 特別抽出 | － | 大学 | 済 |
| 12 | 東京理科大学 | Regression Discontinuity Designによる介護サービスの効果に関する分析 | 特別抽出 | － | 大学 | 済 |
| 13 | 滋賀医科大（旧：中央大学） | 要介護認定情報を用いた認知症有病率の推定と有病率に関連する要因の検討 | 特別抽出 | － | 大学 | 済 |
| 14 | 京都大学 | 医療・介護のデータの利活用の推進のための、NDB・介護DBの連結可能性および活用可能性の評価に関する研究 | 特別抽出 | － | 大学 | 済 |

参考：介護DBデータの申出の承諾実績について（2 / 4）

第119回 社会保障審議会 介護保険部会（令和7年4月21日）資料3より抜粋し、最新の情報（平成30年7月～令和7年6月）を反映。

| 承諾番号 | 担当者・研究代表者の所属機関 | 研究の名称 | 提供依頼データ | 連結 | 申出者区分 | 提供 |
|------|-----------------------------|---|------------------|-------|-----------------|----|
| 15 | 信州大学 | 介護レセプト等情報を用いた介護サービス効果の研究 | 特別抽出 | － | 大学 | 済 |
| 16 | 慶應義塾大学 | 介護保険総合DBを用いた要介護度経年変化の状態遷移確率解析 | 特別抽出 | － | 大学 | 済 |
| 17 | 大阪成蹊大学 | 要介護高齢者の自立支援型介護の効果と介護事業者へのインセンティブメカニズムの研究 | 特別抽出 | － | 大学 | 済 |
| 18 | 東京医科歯科大学 | 要介護高齢者の要介護認定から死亡までのサービス利用ならびに療養場所に関する研究 | 特別抽出 | － | 大学 | 済 |
| 19 | 筑波大学 | 全国介護レセプトから推計したフォーマルケア時間によるわが国の在宅介護政策の評価 | 特別抽出 | － | 大学 | 済 |
| 20 | 国立がん研究センター | 人生の最終段階における医療・ケアの提供状況に関する研究 | 特別抽出 | NDB連結 | 研究開発 独立行政法人等 | 済 |
| 21 | 筑波大学 | 日本における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミックによる介護保険サービス提供体制への影響 | 特別抽出 | － | 大学 | 済 |
| 22 | 内閣府経済社会総合研究所 | 介護の質を反映した実質アウトプット・価格の把握 | 特別抽出 | － | 国の行政機関 | 辞退 |
| 23 | 筑波大学 | 介護保険施設・高齢者のための住居に入所・入居する高齢者および通所サービスを利用する高齢者の医療・介護サービスの利用実態と健康アウトカムとの関連 | 特別抽出 | NDB連結 | 大学 | 済 |
| 24 | 滋賀医科大学 | 匿名介護情報等を用いた看取り介護の実態に関する研究 | 特別抽出 | － | 大学 | 済 |
| 25 | 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 | 福祉サービス提供体制整備に向けたデータ利活用の有用性に関する研究 | サンプリング データセット | － | 国の行政機関 | 済 |
| 26 | 京都大学 | 要介護認定者における通所サービスの利用および費用の実態 | 定型データ セット | － | 大学 | 済 |
| 27 | 筑波大学 | 機械学習を用いた要介護認定審査におけるプロセス等をサポートするシステム開発に係る研究 | 特別抽出 | － | 大学 | 済 |
| 28 | 国立保健医療科学院保健医療 経済評価研究センター | 大規模データ解析による医療介護サービスに関するエビデンス診療ギャップの解明 | 特別抽出 | NDB連結 | 国の行政機関 | 済 |
| 29 | 大阪大学 | 福島県内外での疾病動向の把握に関する調査研究 | 特別抽出 | － | 大学 | 済 |
| 30 | 京都大学 | 臨床疫学に活用可能なNDB等データセットの作成に関する研究 | 特別抽出 | NDB連結 | 大学 | 済 |
| 31 | 広島大学 | 新型コロナウイルス感染症が介護保険サービスに与える影響に関する後ろ向きコホート研究 | 定型データ セット | － | 大学 | 済 |
| 32 | 京都大学 | 高齢者における睡眠薬の使用と転倒関連骨折のリスク評価 | 定型データ セット | NDB連結 | 大学 | 済 |

参考：介護DBデータの申出の承諾実績について（3 / 4）

第119回 社会保障審議会 介護保険部会（令和7年4月21日）資料3より抜粋し、最新の情報（平成30年7月～令和7年6月）を反映。

| 承諾番号 | 担当者・研究代表者の所属機関 | 研究の名称 | 提供依頼データ | 連結 | 申出者区分 | 提供 |
|------|----------------------------|--|----------|-------|-----------------|-----|
| 33 | 筑波大学 | 科学的介護実践に向けてのLIFEデータを用いたフィードバックシステムの開発とエビデンス創出 | 定型データセット | — | 大学 | 済 |
| 34 | 千葉大学予防医学センター | 介護保険総合データベースを用いた特別養護老人ホームにおけるケアの質評価 | 定型データセット | — | 大学 | 済 |
| 35 | 筑波大学 | 在宅医療を必要とする患者像の検討と地域特性に合わせた在宅医療提供体制の構築に関する研究 | 定型データセット | NDB連結 | 大学 | 済 |
| 36 | 国立長寿医療研究センター老年学・社会科学研究センター | 介護事業所に対するLIFE情報の効果的なフィードバック方法に関する研究 | 定型データセット | — | 研究開発 独立行政法人等 | 済 |
| 37 | 産業医科大学 | LIFE を用いた介護領域における新たな研究デザインの提案のための研究 | 定型データセット | — | 大学 | 済 |
| 38 | 筑波大学 | 未成年者や高齢者等の社会的弱者において新型コロナウイルスのパンデミックが医療サービス・介護サービスの利用に与えた影響 | 定型データセット | NDB連結 | 大学 | 済 |
| 39 | 広島大学病院 | 医療ビッグデータの突合によるコロナ流行下の受療行動変化と異状死リスクの検討 | 定型データセット | NDB連結 | 大学 | 済 |
| 40 | 東京医科歯科大学 | ナショナルデータベースや介護保険総合データベース等を活用した医療・介護特性を総合的に捉えたAI プロトタイプの開発と分析結果を根拠とした医療介護特性別の最適介入に関する研究 | 定型データセット | NDB連結 | 大学 | 済 |
| 41 | 九州大学 | パーキンソン病患者の生活習慣が入院・医療介護費に与える影響の解明 | 定型データセット | NDB連結 | 大学 | 済 |
| 42 | 大阪医科薬科大学 | 骨脆弱性疾患における骨折リスクと要介護認定・介護サービス消費の改善要因 | 定型データセット | NDB連結 | 大学 | 済 |
| 43 | 九州大学 | 脳卒中の発症と疾病負荷に関する研究 | 定型データセット | NDB連結 | 大学 | 済 |
| 44 | 国立保健医療科学院 保健医療経済評価研究センター | 医療・介護サービスの経済性及び効率性評価に資する研究 | 定型データセット | — | 国の行政機関 | 済 |
| 45 | 京都大学 | 医療・介護データを用いた要介護者レベルと保険者(自治体)レベルの医療・介護アウトカムの計測、要因分析および予測 | 特別抽出 | NDB連結 | 大学 | 済 |
| 46 | 塩野義製薬株式会社 | インフルエンザと比較したCOVID-19の疾病負担の変遷 | 定型データセット | NDB連結 | 民間事業者 | 未提供 |
| 47 | 国立保健医療科学院 保健医療経済評価研究センター | 費用対効果評価に活用するための医療・介護費用算出に関わる基盤整備 | 定型データセット | NDB連結 | 国の行政機関 | 済 |

参考：介護DBデータの申出の承諾実績について（4 / 4）

第119回 社会保障審議会 介護保険部会（令和7年4月21日）資料3より抜粋し、最新の情報（平成30年7月～令和7年6月）を反映。

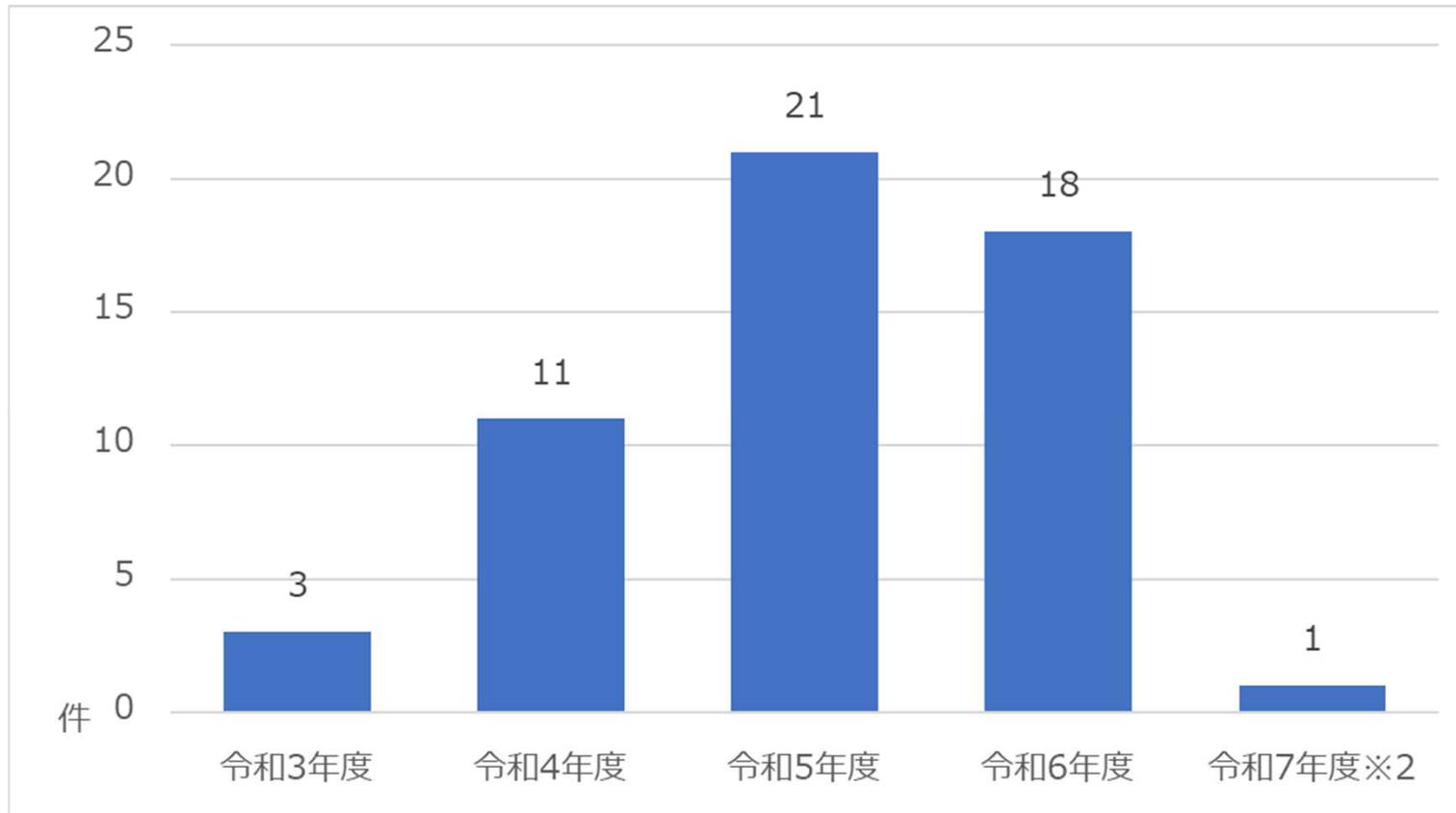
| 承諾番号 | 担当者・研究代表者の所属機関 | 研究の名称 | 提供依頼データ | 連結 | 申出者区分 | 提供 |
|------|---------------------|--|----------|-------------|-------------|-----|
| 48 | 明治薬科大学 | 介護・福祉・在宅医療現場における関節リウマチ患者支援に関する研究 | 定型データセット | NDB連結 | 大学 | 済 |
| 49 | ユーシービージャパン株式会社 | 脆弱性骨折の疫学および治療実態に関する研究 | 定型データセット | NDB連結 | 法人 | 済 |
| 50 | 中外製薬株式会社 | 日本における後天性血友病A患者の治療実態に関するデータベース研究 | 定型データセット | NDB連結 | 法人 | 済 |
| 51 | 神奈川県立保健福祉大学 | 介護保険施設入所者における栄養状態や栄養管理サービスの影響評価 | 定型データセット | — | 大学 | 済 |
| 52 | 財務省 | 介護給付費等負担金（居宅療養管理指導等） | 集計表 | — | 国の行政機関 | 済 |
| 53 | 国立保健医療科学院 | 公的データベースを用いたICDとICFの連結情報の生成およびその活用方策の検討 | 定型データセット | — | 国の行政機関 | 未提供 |
| 54 | 国立保健医療科学院 | 訪問系サービスにおける LIFE の活用に向けた評価指標の開発に資する研究 | 定型データセット | — | 国の行政機関 | 済 |
| 55 | 大阪大学 | 健康寿命の延伸及び要介護度の維持等から見た市区町村の効果的な高齢者施策について | 定型データセット | — | 大学 | 済 |
| 56 | 徳島大学 | 災害前後の福祉サービスの実態と虚弱との関連および災害の質から見た福祉連携の検討 | 特別抽出 | — | 大学 | 未提供 |
| 57 | 慶應義塾 | 特定健診・特定保健指導の必要性・妥当性検証に関する研究 | 定型データセット | NDB連結 | 大学 | 未提供 |
| 58 | 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 | 日本における統合失調症の記述疫学研究：NDBおよび介護DBを用いた臨床的・経済的視点からの分析 | 定型データセット | NDB連結 | 法人 | 辞退 |
| 59 | 弘前大学 | 無気力（興味・関心の低下）が認知症の悪化に与える影響とその予防に向けた調査 | 定型データセット | — | 大学 | 未提供 |
| 60 | 日本老年学的評価研究機構 | 一人あたり介護給付費等の地域差要因にかかる調査研究 | 定型データセット | — | 一般社団法人 | 未提供 |
| 61 | アムジェン株式会社 | NDB-DPCDB-介護DB連結によるがん研究データベース（Nationwide Oncology Linked Data in Japan）の開発 | 特別抽出 | NDB・DPCDB連結 | 法人 | 未提供 |
| 62 | 国立国際医療研究センター | 全国DB連結によるCOVID-19パンデミック前後での罹患者と非罹患者の新規診断疾患・要介護状態に関する比較研究 | 定型データセット | NDB・iDB連結 | 研究開発独立行政法人等 | 未提供 |
| 63 | 学校法人高木学園 | 年間研究でSCRの作成とLIFEデータの問題点の洗い出しと改善提案 | 定型データセット | — | 大学 | 未提供 |
| 64 | 株式会社三菱総合研究所 | 医療・介護の総合的なサービスの利用実態及び医療・介護費用の分析 | 特別抽出 | NDB連結 | 法人 | 未提供 |

介護DBデータの利用実績の集計について（令和7年6月時点）

- 令和7年6月までに、54件の利用実績※1の報告があった。
- 研究成果の公表年度別の実績件数は以下のとおり。

※1 介護DBデータの利用実績報告書に基づき、公表形式・公表媒体等別に研究成果を集計。
公的機関以外の利用者は、研究成果の公表後3ヶ月以内にその公表も含めた成果の概要について、厚生労働省へ「利用実績報告書」により報告する。
(匿名介護保険等関連情報データベース（介護保険総合データベース、介護DB）の利用に関するガイドライン 第3版 3 利用実績報告書の提出)

○利用実績の推移



※2 令和7年度は6月末まで

参考：介護DBデータの利用実績（1／5）

| No | 取扱者 | 取扱者 所属機関 | 研究の名称 | 公表形式 | 公表媒体等 | 公表年度 |
|----|------|------------------|---|------------|---|-------|
| 1 | 吉田秀平 | 広島大学 | The effect of the 2018 Japan Floods on cognitive decline among long-term care insurance users in Japan: a retrospective cohort study | 論文 | Environmental Health and Preventive Medicine | 令和3年度 |
| 2 | 吉田秀平 | 広島大学 | Effects of the 2018 Japan Floods on long-term care insurance costs in Japan: retrospective cohort study | 論文 | BMC Public Health | 令和3年度 |
| 3 | 吉田秀平 | 広島大学 | Discontinuation of long-term care among persons affected by the 2018 Japan Floods a longitudinal study using the Long-term Care Insurance Comprehensive Database | 論文 | BMC Geriatrics | 令和3年度 |
| 4 | 吉田秀平 | 広島大学 | Increased care-need in older long-term care insurance users after the 2018 Japan Floods: a retrospective cohort study based on the Japanese long-term care insurance claims | 論文 | Environmental Health and Preventive Medicine | 令和4年度 |
| 5 | 木原朋未 | 国立大学法人筑波大学 | 新型コロナウイルス感染症に対応した新しい生活様式による生活習慣の変化およびその健康影響の解明に向けた研究—生活習慣病の発症および重症化予防の観点から— | 報告書・書籍 | 厚生労働行政推進調査事業費（厚生労働科学特別研究事業） | 令和4年度 |
| 6 | 木原朋未 | 国立大学法人筑波大学 | 全国 新規の要介護・要支援認定発生率の経時変化（2018年1月－2020年12月） | 学会・研究会等で発表 | 第161回日本医学会シンポジウム | 令和4年度 |
| 7 | 加藤源太 | 京都大学医学部 附属病院 | 医療・介護のデータの利活用の推進のための、NDB・介護DBの連結可能性および活用可能性の評価に関する研究 | 報告書・書籍 | 厚生労働科学研究費補助金 行政政策研究分野 政策科学総合研究（政策科学推進研究） | 令和4年度 |
| 8 | 今中雄一 | 京都大学大学院 医学研究科 | 認知症施策の評価・課題抽出のための研究：領域横断・融合的アプローチと大規模データベースの実践的活用 | その他 | 厚生労働科学研究費補助金 認知症政策研究事業 令和4（2022）年度研究成果の報告 | 令和4年度 |
| 9 | 吉田秀平 | 広島大学 | How the 2018 Japan Floods Impacted Nursing Home Admissions for Older Persons: A Longitudinal Study Using the Long-Term Care Insurance Comprehensive Database | 論文 | Journal of the American Medical Directors Association | 令和4年度 |
| 10 | 今中雄一 | 京都大学大学院 医学研究科 | 認知症自立余命の公表 | その他 | 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野HP | 令和4年度 |

参考：介護DBデータの利用実績（2／5）

| No | 取扱者 | 取扱者 所属機関 | 研究の名称 | 公表形式 | 公表媒体等 | 公表年度 |
|----|-------|------------------|---|----------------|--|-------|
| 11 | 吉田秀平 | 広島大学 | 豪雨災害は高齢者の介護施設入所のリスクを増加させる：介護レセプト等情報を用いた過去起点コホート研究 被災者における介護中断リスクの検討；介護レセプト等情報を用いた西日本豪雨災害における大規模コホート | 学会・研究会 等で発表 | 第26回日本病院総合診療医学会 | 令和4年度 |
| 12 | 今中雄一 | 京都大学大学院 医学研究科 | 認知症高齢者の日常生活自立度を用いた健康余命の全国二次医療圏での算出 | 論文 | 一般社団法人厚生労働統計協会 「厚生指標 第70巻第2号」 | 令和4年度 |
| 13 | 木原朋未 | 国立大学法人筑 波大学 | The effect of business operating systems on nursing home termination | 論文 | International Journal of Public Health | 令和4年度 |
| 14 | 木原朋未 | 国立大学法人筑 波大学 | COVID-19パンデミックと新規要介護・要支援認定発生率との関連－全国の匿名要介護認定情報等を用いた分析－ | 学会・研究会 等で発表 | 第33回日本疫学会学術総会 | 令和4年度 |
| 15 | 今中雄一 | 京都大学大学院 医学研究科 | Regional disparities in Dementia-free Life Expectancy in Japan: an ecological study, using the Japanese long-term care insurance claims database | 論文 | PLoS ONE | 令和5年度 |
| 16 | 野見山哲生 | 信州大学医学部 | Associations between long-term care-service use and service-or care-need level progression: a nationwide cohort study using the Japanese Long-Term Care Insurance Claims database | 論文 | BMC Health Services Research | 令和5年度 |
| 17 | 小宮山潤 | 筑波大学 | 機械学習を用いた要介護認定審査におけるプロセス等をサポートするシステム開発に係る研究 | 報告書・書籍 | 令和5年度AMED進捗報告書 | 令和5年度 |
| 18 | 小宮山潤 | 筑波大学 | 機械学習を用いた要介護認定審査におけるプロセス等をサポートするシステム開発に係る研究 | 学会・研究会 等で発表 | AMED・PSPOヒアリング | 令和5年度 |
| 19 | 小宮山潤 | 筑波大学 | 要介護認定審査において一次判定から二次判定で介護度に変更された要因の探索 | 学会・研究会 等で発表 | 第82回日本公衆衛生学会総会 | 令和5年度 |
| 20 | 今中雄一 | 京都大学大学院 医学研究科 | 認知症施策の評価・課題抽出のための研究：領域横断・融合的アプローチと大規模データベースの実践的活用 | 報告書・書籍 | 厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 認知症政策研究 | 令和5年度 |

参考：介護DBデータの利用実績（3／5）

| No | 取扱者 | 取扱者 所属機関 | 研究の名称 | 公表形式 | 公表媒体等 | 公表年度 |
|----|------|------------------|--|----------------|--|-------|
| 21 | 菅原慎矢 | 東京理科大学 | Effects of preventive long-term care services: Evidence from Japan | 学会・研究会 等で発表 | 医療経済学会第18回研究大会 | 令和5年度 |
| 22 | 加藤源太 | 京都大学医学部 附属病院 | 介護DBコードブック | その他 | 大学HP掲載 | 令和5年度 |
| 23 | 佐藤幹也 | 筑波大学 | フォーマルケアによる在宅介護の公平性の評価 | 学会・研究会 等で発表 | 第82回日本公衆衛生学会総会 | 令和5年度 |
| 24 | 今中雄一 | 京都大学大学院 医学研究科 | 介護DBデータを用いた機械学習による1年後要介護度重症化の予測と評価 | 学会・研究会 等で発表 | 第82回日本公衆衛生学会総会 | 令和5年度 |
| 25 | 加藤源太 | 京都大学医学部 附属病院 | 介護DBを用いた基礎的集計および「介護DBコードブック」の作成 | 学会・研究会 等で発表 | 第82回日本公衆衛生学会総会 | 令和5年度 |
| 26 | 柏木聖代 | 東京医科歯科大学 | 看護小規模多機能居宅介護の初回利用時の利用者の特徴—介護保険総合データベースを用いた分析 | 学会・研究会 等で発表 | 第82回日本公衆衛生学会総会 | 令和5年度 |
| 27 | 柏木聖代 | 東京医科歯科大学 | 介護保険サービスを利用している要介護高齢者の死亡前1年間のケアトランジション：介護保険総合データベースを用いた分析 | 学会・研究会 等で発表 | 第82回日本公衆衛生学会総会 | 令和5年度 |
| 28 | 宇田和晃 | 筑波大学 | 介護施設に入所・入居した高齢者の股関節骨折発生率：全国規模の個票データによる推計 | 学会・研究会 等で発表 | 第82回日本公衆衛生学会総会 | 令和5年度 |
| 29 | 木原朋未 | 国立大学法人筑波大学 | 型コロナウイルス感染症による他疾患を含めた医療・医学に与えた影響の解明に向けた研究 -今後の新興感染症発生時の対策の観点から- | 報告書・書籍 | 厚生労働行政推進調査事業費補助金（新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業） | 令和5年度 |
| 30 | 吉田秀平 | 広島大学 | 西日本豪雨の介護保険サービスへの影響に関する後ろ向きコホート研究 | 報告書・書籍 | 科学研究費助成事業 研究成果報告書 | 令和5年度 |

参考：介護DBデータの利用実績（4／5）

| No | 取扱者 | 取扱者 所属機関 | 研究の名称 | 公表形式 | 公表媒体等 | 公表年度 |
|----|-------|-----------------|--|----------------|---|-------|
| 31 | 加藤源太 | 京都大学医学部 附属病院 | 介護DBコードブックについて | その他 | 第2回介護DB活用ネットワーク人材育成セミナー | 令和5年度 |
| 32 | 佐藤理 | 東京慈恵医科大学 | 介護老人保健施設入所者における入所時の要介護認定情報等と入所後の経過に関する研究 | 学会・研究会 等で発表 | 第82回日本公衆衛生学会総会 | 令和5年度 |
| 33 | 査凌 | 大阪大学 | 福島県内外での疾病動向の把握に関する調査研究 | その他 | 環境省放射線健康管理・健康不安対策事業（放射線の健康影響に係る研究調査事業）「福島県内外での疾病動向の把握に関する調査研究」班第2回班会議の報告資料として公表 | 令和5年度 |
| 34 | 伊藤美樹子 | 滋賀医科大学 | 高齢者入所施設における終末期ケア利用者の「看取りの完遂」要因の探索-全国規模の介護レセプトを用いた施設別・都道府県別・個人要因別の検討- | 論文 | 滋賀医科大学医学系研究科看護学専攻（修士論文） | 令和5年度 |
| 35 | 伊藤美樹子 | 滋賀医科大学 | 高齢者入所施設における終末期ケア利用者の「看取りの完遂」要因の探索-全国規模の介護レセプトを用いた施設別・都道府県別・個人要因別の検討- | 学会・研究会 等で発表 | 2023年度第2回学位論文（修士）研究発表会 | 令和5年度 |
| 36 | 近藤克則 | 千葉大学予防医学センター | LIFEを用いた自治体向け介護サービスの質評価に関する調査研究 | 報告書・書籍 | 令和5年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業 LIFEを用いた自治体向け介護サービスの質評価に関する調査研究 報告書 | 令和6年度 |
| 37 | 近藤克則 | 千葉大学予防医学センター | 介護関連データを活用した自立支援・科学的介護の推進を支援するAI等の活用に関する研究 | 報告書・書籍 | 令和5年度 共同研究実施報告書 JST: 産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム (OPERA) | 令和6年度 |
| 38 | 柏木聖代 | 東京医科歯科大学 | Characteristics of first-time users of the nursing small-scale multifunctional home care service: a pooled cross-sectional study using Japanese long-term care insurance claims data from 2012 to 2019 | 学会誌に掲載 | BMJ Open | 令和6年度 |
| 39 | 島田裕之 | 国立長寿医療研究センター | 匿名LIFE情報における欠損値の評価 | 学会・研究会 等で発表 | 第83回日本公衆衛生学会総会 | 令和6年度 |
| 40 | 佐藤幹也 | 筑波大学医学医療系 | 在宅介護サービスの介護時間を指標とした要介護度の妥当性の評価 | 学会・研究会 等で発表 | 第15回 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 | 令和6年度 |

参考：介護DBデータの利用実績（4／5）

| No | 取扱者 | 取扱者 所属機関 | 研究の名称 | 公表形式 | 公表媒体等 | 公表年度 |
|----|-------|--------------------------------|---|------------|--|-------|
| 41 | 柏木聖代 | 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科看護ケア技術開発学分野 | Last year of life care transitions between long-term care insurance services in Japan: Analysis of long-term care insurance claims data | 学会誌に掲載 | Geriatrics & Gerontology International | 令和6年度 |
| 42 | 行定裕太 | 財務省 | 介護給付費等負担金（居宅療養管理指導等） | その他 | 財務省「予算執行調査資料 総括調査票（令和6年10月公表分）」 | 令和6年度 |
| 43 | 島田裕之 | 国立長寿医療研究センター老年学社会科学研究所センター | 匿名LIFE情報における欠損値の評価 | 学会・研究会等で発表 | 第83回日本公衆衛生学会総会 | 令和6年度 |
| 44 | 伊藤美樹子 | 滋賀医科大学医学部 | 介護保険の終末期ケア利用者と療養場所 第1報 死亡前半年の概要 | 学会・研究会等で発表 | 第83回日本公衆衛生学会総会 | 令和6年度 |
| 45 | 伊藤美樹子 | 滋賀医科大学医学部 | 介護保険の終末期ケア利用者と療養場所 第2報 中間施設である老人保健施設の特徴 | 学会・研究会等で発表 | 第83回日本公衆衛生学会総会 | 令和6年度 |
| 46 | 島田裕之 | 国立長寿医療研究センター老年学社会科学研究所センター | 匿名LIFE情報における欠測値出現傾向の分析 | 学会・研究会等で発表 | 第44回医療情報学連合大会 | 令和6年度 |
| 47 | 島田裕之 | 国立長寿医療研究センター老年学社会科学研究所センター | 匿名LIFE情報における欠測値出現傾向の分析 | 学会・研究会等で発表 | 第25回日本医療情報学会学術大会 | 令和6年度 |
| 48 | 査凌 | 大阪大学大学院医学系研究科 | 福島県内外での疾病動向の把握に関する調査研究 | その他 | 環境省令和6年度放射線健康管理・健康不安対策事業（放射線の健康影響に係る研究調査事業）研究成果発表会 | 令和6年度 |
| 49 | 島田裕之 | 国立長寿医療研究センター老年学社会科学研究所センター | LIFE 情報の入力状況と利活用可能な情報の検討 | 報告書・書籍 | 厚生労働科学研究費補助金長寿科学政策研究事業 | 令和6年度 |
| 50 | 島田裕之 | 国立長寿医療研究センター老年学社会科学研究所センター | LIFE 情報の入力状況と利活用可能な情報の検討 | 報告書・書籍 | 厚生労働科学研究費補助金長寿科学政策研究事業 | 令和6年度 |

参考：介護DBデータの利用実績（5／5）

| No | 取扱者 | 取扱者 所属機関 | 研究の名称 | 公表形式 | 公表媒体等 | 公表年度 |
|----|-------|--|--|----------------|-----------------------------|-------|
| 51 | 大寺祥佑 | 国立長寿医療研究センター | 介護DBによる認知症の公的介護費用推計 | 学会・研究会 等で発表 | 国立保健医療科学院 福田班研究 報告 | 令和6年度 |
| 52 | 島田 裕之 | 国立長寿医療研究センター老年学社会科学研究所 学社会科学研究所 センター | LIFE情報を用いた要介護度悪化に関連する項目選定のための予測モデル構築 | 報告書・書籍 | 厚生労働科学研究費補助金長寿科学政策研究事業 | 令和6年度 |
| 53 | 島田 裕之 | 国立長寿医療研究センター老年学社会科学研究所 学社会科学研究所 センター | LIFE情報を用いたBarthel Indexの変化に関連する要因の選定と予測モデル構築 | 報告書・書籍 | 厚生労働科学研究費補助金長寿科学政策研究事業 | 令和6年度 |
| 54 | 佐藤 幹也 | 筑波大学医学医療系 | 在宅介護サービスの介護時間を指標とした要介護度の妥当性の評価 | 学会・研究会 等で発表 | 第16回 日本プライマリ・ケア連合 学会学術大会 | 令和7年度 |

介護DBデータの不適切利用発生時の対応（令和7年6月時点）

- 介護DBデータの不適切利用が発生した場合、厚生労働省は、ガイドライン及び利用規約等に基づき、取扱者又は提供申出者（取扱者の所属機関）に対して利用停止等の措置を行っている。

| No | 日付 | 不適切利用の内容 | 措置内容 |
|----|---------|--|-----------------------------|
| 1 | 令和6年12月 | <ul style="list-style-type: none">・提供申出書や別添に記載されていないデータ項目を使った分析を実施した・公表物確認を受けていない介護DBデータを公表した | 介護DBデータの1か月間の利用停止及び新規提供申出禁止 |